



としょかん
図書館だより

NO.8

ことし としょかん ねが
今年も図書館をよろしくお願いします

今年(ことし)は辰年(たつとし)です。たつ(竜・龍)は、十二支(じゅうにし)の動物(どうぶつ)の中では唯一(ゆいいつ)、想像上(そうそうじょう)の生き物(いきもの)です。

竜(りゅう)は古代中国(こだいちゅうごく)の神話(しんわ)で神獣(しんじゅう)とされ、古くから権力(けんりょく)の象徴(しょうちょう)とされてきました。

その姿(すがた)は、角(つの)は鹿(しか)、頭(あたま)は駱駝(らくだ)、目(め)は鬼(おに)、身体(からだ)は蛇(へび)、腹(はら)は蟹(かに) (伝説(でんせつ)の動物(どうぶつ))、鱗(うろこ)は鯉(こい)、爪(つめ)は鷹(たか)、掌(てのひら)は虎(とら)、耳(みみ)は牛(うし)に似(に)ています。長いひげ(ながいひげ)をたくわえ、あごの下(した)には、一枚(いちまい)だけ逆(さか)さに生(は)えた鱗(うろこ)(逆鱗(げきりん))があるそうです。

竜(りゅう)はこの逆鱗(げきりん)に触(ふ)れるのが大嫌(だいきら)いで、触(ふ)れた人(ひと)は、怒(おこ)った竜(りゅう)に殺(ころ)されてしまう(しまう)ということから、こんな故事成語(こしせいご)が生ま(う)れました。



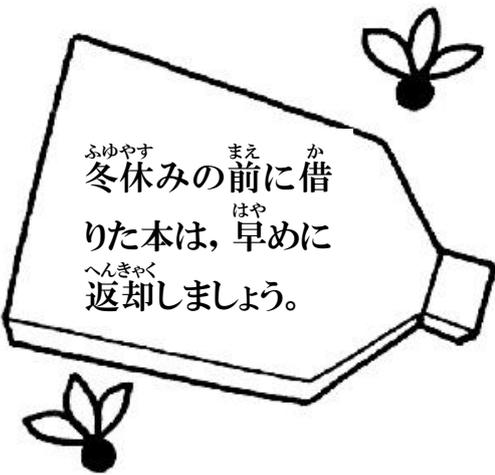
【逆鱗(げきりん)に触(ふ)れる】 目上(めうえ)の人(ひと)や地位(ちい)の高い人(たか)を激(げ)しく怒(おこ)らせてしまうこと(こと)のたとえ。

神話(しんわ)や伝説(でんせつ)をはじめ、多(おほ)くの文学(ぶんがく)にも登(とう)場(じょう)してき(き)た竜(りゅう)。今(いま)ではアニメ(えい)や映画(えい)画(が)、ゲーム(げい)のキャラクター(きゃらくたー)にもな(な)っていますね。

辰年(たつとし)は、竜(りゅう)が天(てん)に昇(のぼ)るよう(よう)に、勢(いきお)いよく活(か)気(き)あふれる成(せい)長(ちやう)の年(ねん)と言(い)われています。

この新(あたら)しい年(ねん)が、みなさんにと(と)って、よ(よ)り楽(らく)しく、実(み)り多(おほ)いもの(もの)にな(な)りますよう(よう)に・・・

今(こん)月の(げつ)コーナ(コーナ)ー展(てん)示(じ)は「お正(しょう)月(がつ)・竜(りゅう)の本(ほん)」です。



ふゆやす まえ か
冬休(ふゆやす)みの前(まえ)に借(か)りた本(ほん)は、早(はや)めに返(へん)却(きゃく)しまし(ま)しょう。

あたら しい本(ほん)がた(た)くさん入(はい)りましたよ!!

先(せん)日(じつ)開(かい)催(さい)した《ミ二(に)図(ず)書(しょ)見(み)本(ほん)展(てん)示(じ)会(かい)》の本(ほん)から、図(ず)書(しょ)委(い)員(いん)が選(せん)書(しょ)しまし(ま)した。
 ～その中(なか)から、一(いち)部(ぶ)紹(しょう)介(かい)しまし(ま)す～

☆『ひとり(ひとり)でできる(で)る! ゼツ(ぜつ)タイ(たい)かん(かん)たん(たん)レシ(れし)ピ』全(ぜん)5(ご)巻(まき) (岩(いわ)崎(さき)書(しょ)店(てん))
 自(じ)分(ぶん)が食(た)べたいもの(もの)を自(じ)分(ぶん)で作(つく)る。家(か)族(ぞく)のた(た)めに作(つく)る。料(りょう)理(り)が初(はじ)めてでも大(だい)丈(ぢやう)夫(ふう)。気(き)にな(な)る一(いち)皿(ばん)にチャ(チャ)レンジ(レンジ)しま(ま)う。

☆『ライ(らい)ト(と)ニ(に)ン(ん)グ(ぐ)・メ(め)ア(あ)リ 一(りゅう)竜(りゅう)を(を)発(はっ)掘(くつ)した(した)少(しょう)女(じょ)ー』

アン(あん)シ(し)ア(ア)・シ(シ)モ(モ)ン(ン)ズ(ズ)/作(さく) (岩(いわ)崎(さき)書(しょ)店(てん))
 12(じふに)歳(さい)で世(せ)界(かい)初(はつ)の魚(ぎょ)竜(りゅう)イ(イク)チ(チ)オ(オ)サ(サ)ウル(ウル)ス(ス)の化(か)石(せき)を(を)発(はっ)見(けん)した(した)少(しょう)女(じょ)の物(もの)語(ご)。

今(こん)月の(げつ)家(あ)読(とく)の(の)日(ひ)は、1(いち)月(げつ)2(に)1(いち)日(にち)(にち)です。